

【生分解性プラスチック】とは・・・

廃プラスチックによる海洋汚染、製品使用中の有害化学物質の溶出、埋め立て処理での有害化学物質の浸出、焼却処理での有害化学物質の排出など、プラスチックが環境に与える負荷が懸念されています。そしてリサイクル率向上のための技術開発や環境整備、代替素材への転換などが行われています。

廃棄物処理という観点からは、「生分解性」という技術が注目されています。

「生分解性」は、微生物の作用により分解する性質を示すもので、形状の安定性を求めてきたプラスチックに対しても、廃棄後の「生分解性」に関わる研究が行われ、製品化がなされています。

このような生分解性を有するプラスチックは「生分解性プラスチック」と呼ばれています。

図1に、「生分解性プラスチック」の分解サイクルの概念図を示します。

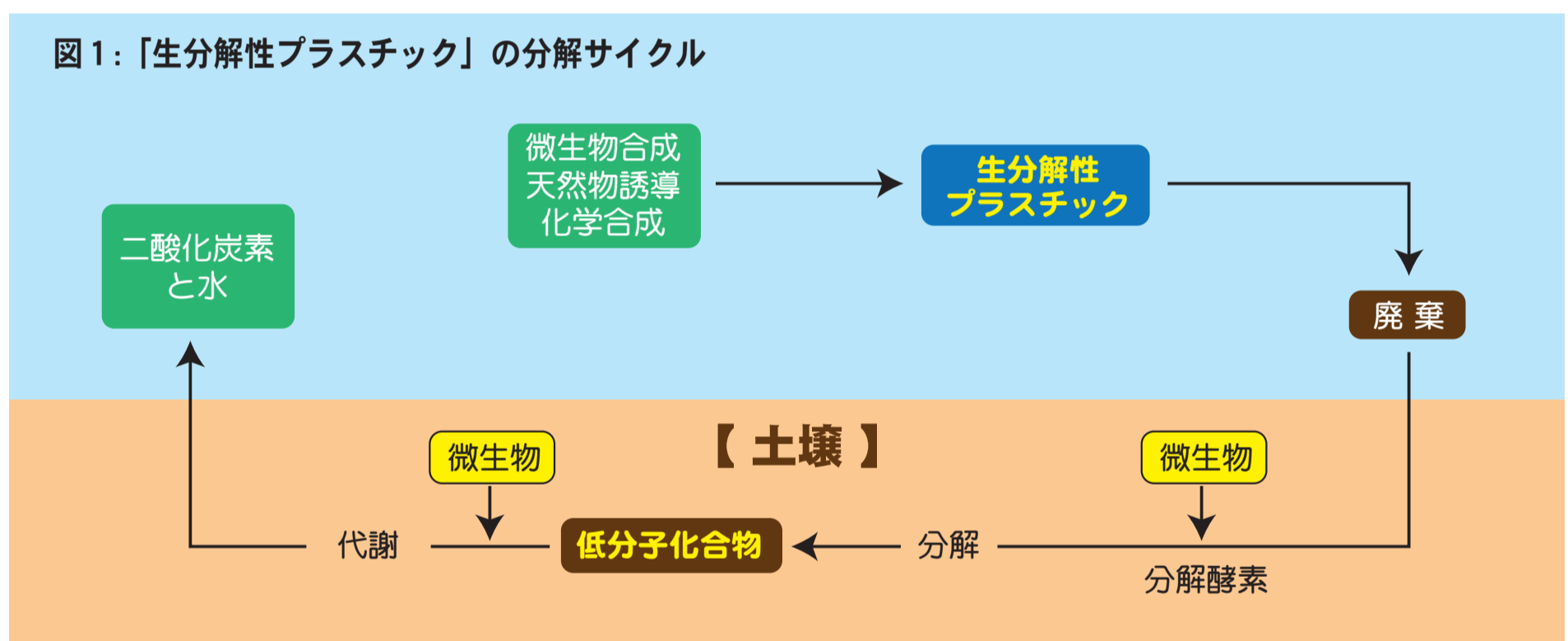


図1に示すようなサイクルを有する「生分解性プラスチック」には、次のような特徴があります。

「生分解性プラスチック」の特徴

「生分解性プラスチック」は、自然環境中に残留せずに水や二酸化炭素などに分解されるため、自然環境に影響を及ぼさない。

このように「生分解性プラスチック」は、環境に配慮した画期的なプラスチックです!!